

口唇裂

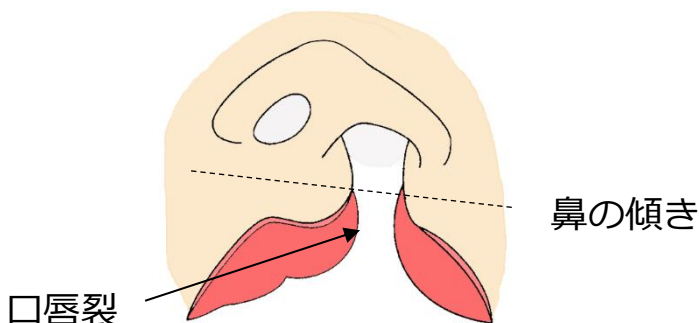


子ども達に「**勇気**、**夢**として**笑顔**」を

こうしんれつ

口唇裂とは

生まれつき、上唇の一部が繋がらず、**隙間（裂）**のある状態です。お母さんのお腹の中では、もともと**誰もがこの場所に隙間を持っています**。成長するにつれて隙間が無くなるのですが、何かの理由でつながり忘れが起きると**口唇裂**となります。



症状

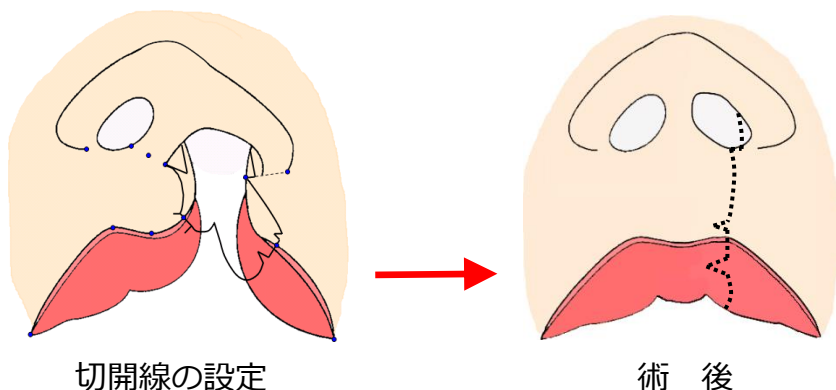
裂の回りの筋肉（表情を作るための筋肉）が鼻の片側をひっぱるため、鼻が傾きます。また、歯茎にも少しつながり忘れがある場合が多いです。

出生後には上あごや、のどちんこにも隙間がないか確認をする必要があります。口唇裂だけの場合は、哺乳は問題無くできることが多いのですが、吸う力が弱い場合は専用の哺乳びんを使います。



治療

手術で上唇の隙間をきれいにつなげます。それと同時に鼻の傾きも戻します。



全身状態に問題の無い場合は、生後4～6ヶ月前後、体重5～6キロを目処として手術を行います。

手術は全身麻酔で行います。入院は手術の前日から行い、約9日間程度の日程となります。

日常生活で注意することは

口唇裂のために日常生活に特別な注意は必要ありません。

手術が終わった後は、数ヶ月間テーピングをする必要があります。

また、しばらくの間は

傷口を保護するため、腕輪をしたり、細口ニップルを使用します。



WANPUG



地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

<口腔外科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605